

# バスティン研究会 in 東京 月例講座 報告

(2011年12月分、毎月第1木曜日 10:00~12:00 開講)

♪ベーシックス・ピアノレベル4の講座報告と、参加者アンケートから出たQ&Aです。

2011年 12月1日 「ベーシックス レベル4」 講師：小西 裕美子  
ソナチネも分析できる中級への入り口  
基礎の総まとめです。グループ4の調も学びます。

\* レベル4は、中級への橋渡しの本で、音楽の幅が広がりいろいろな発展があり、ソナチネを分析して弾くことが出来ることが大切である。勉強するための楽典ではなく、ピアノを弾くための楽典である。というお話から始まりました。

\* 「ピアノ」の1曲目 {ロマンス} を例にあげ、読譜の進め方を体験しました。

- ・タイトルや挿絵から曲をイメージする。
- ・コードネームを調べて、形式を見つける。
- ・各楽節の調性を調べる。
- ・楽語を調べる。

このように、分析することによって、早く読譜が出来ることがよくわかりました。



\* ふみかえペダルのテクニックは、「踏んであげて」だけではなく、弾いた音を耳でよく聴いてペダルを踏みかえするとよいとわかりました。ここで、ペダルの半分踏みやu. c.の体験をさせるとよいとも伺いました。

\* 転回形では、空中ピアノやオリジナル教具を使用して確認しました。第1、第2転回形とも根音を意識するとよいと伺いました。

- \* テトラコードをオリジナルシートで体験しました。自分でテトラコードを作っていく、#とbの付く順番も復習でき、とても画期的なシートができあがりました。



- \* 16分音符を「じゅうろく はちぶ」などと言葉をつけてリズム打ちをしました。今まで学んだ音符を取り上げ、音価の確認もしました。
- \* ピアノ p.24 「sonatina in C」は、ソナチネの形式を理解するため、物語を作る。同じテーマには同じ言葉を入れるという様にして、フレーズに言葉を付けると曲の形が理解できて、楽しんでアナリーゼしながら学べると伺いました。
- \* 音程は、難しいものと思われがちですが、バスティン教材では音程を音階上で考え、鍵盤で確認するととてもわかりやすいこととわかりました。
- \* 増三和音と減三和音は、メイジャーとマイナーの和音をしっかり理解し、鍵盤上で考えると簡単に理解できました。ただ弾くだけではなく、和音の響きをよく感じて弾くことも大切だと伺いました。
- \* 同主調の長音階と短音階は同じ音から始まります。2つの音階の違いは調号の数が3つと覚えると簡単に弾けることがわかりました。
- \* グループ4の調の指使いを確認しました。オリジナル教具を使用することによって、簡単に覚えることが出来ました。
- \* 音度記号にそれぞれ特別な名前が付いていることを覚えました。また、V7の和音は大切な和音で一つしかない響きなので、生徒さんと確かめながら確認するとよいと伺いました。

レポート M. I.

#### 【併用教材&併用曲の紹介】

- \*デュエットフェボリット 3

Q & A . . . アンケートのご質問にお答えします！

Q. レベル3からですが、他の教材（ブルグミュラー、バッハ）との使い方がむずかしいです。バスティンから出る本を使った方が良いでしょうか？

A. 私はやる気があって専門的に進みそうな生徒さんには各作曲家1冊ずつ別に渡していますが、趣味で終わりそうな生徒さんには 名曲集1冊でいろいろな作曲家の曲が味わえるようにしています。

Q. ピアノ p47「水車」〇〇を使ってとおっしゃったのは 前腕ですか？

A. 滑舌が悪くて申しわけありません！  
その通り前腕です。指だけではなく音形に合わせて前腕を動かすテクニックが必要になってきます。

Q. バスティン先生は始めて3年でとのことでしたが、何年くらいを目安(一般的に)はありますか？

A. 本当に先生方みなで考えられる質問のことと思いますが、生徒さん一人一人能力が違いますので理想を3年として、教えていけたら、と思います。

小西裕美子